

わくわく!ふくいっ子

R7.10.26

文責 福井小学校長 鶴本正道



福井町ふるさと人権フェスティバルでの子どもたちの活躍

10月26日（日）に開催されました人権フェスティバルでは、地域の皆様の温かいご支援とご協力のもと、本校の児童もステージプログラムに参加し、日頃の学習の成果を堂々と発表することができました。改めて、子どもたちをいつも全身で、魂で応援してくださる地域の皆様方に、心より感謝申し上げます。

当日の子どもたちの様子とプログラムの内容をご紹介します。

1年生「それもいいね」（人権標語の発表とダンス）

何でも一生懸命な1年生。難しいところも「わからん」「無理」ではなく、「今日も踊ろう！」と未来へ飛び込むような前向きさで練習に取り組み、仲のよさを見せながら、元気に発表しました。

2年生：「あの青い空のように」（合唱と友だちのいいところ発表）

時にはけんかをすることもあるけれど、すぐに仲直りをして、思ったことを素直に伝えられる溢れんばかりの生命力を持った2年生。そのエネルギーが本番の合唱にもあふれています。

3年生：「世界中の子どもたちが」（リコーダー演奏と合唱）

楽しそうに一生懸命歌ったり、踊ったり。光り輝くような笑顔あふれる3年生の演技でした。紙飛行機に乗せた、周りを大切に思う「思いやり」の心が、きっと会場中に届いたことでしょう。

4・5年生：「音楽のおくりもの」（合唱）

9月から本番に向けて一生懸命練習を頑張ってきた4・5年生。緊張の中でしたが、素晴らしい合唱を披露してくれました。

6年生：「私のふるさと福井」（標語の発表と合唱・合奏）

「わ・た・し・の・ふ・る・さ・と」を頭文字にした標語を発表した後、最高学年としての誇りを胸に、堂々とした合奏や合唱を披露してくれました。ふるさと福井を思う深い愛情がとても伝わってきました。

ステージに立つ子どもたちの姿を見て、私の胸は熱くなりました。子どもたちはただ演技をしたのではありません。一人ひとりが目を輝かせ、心から発表を楽しんでいる、まさに「命の躍動」そのものでした。

そして、その輝きの背景には、地域の方々の深く、温かい、包み込むような「まなざし」がありました。子どもたちは、いつも皆様から応援されていることを感じています。その愛情が、子どもたちを最高の笑顔に、最高のパフォーマンスへと導いてくれたと思います。

また、発表全体を通して感じたのは、子どもたちの「ふるさと福井への誇り」と「愛」です。この郷土愛こそが、未来の人権を守り育てる力になると確信しました。

さらに、福井中学校の生徒さんによる人権劇は、私に深い感動を与えてくれました。先輩たちの姿を見て、5・6年生も戦争の愚かさを学んだことだと思います。

この素晴らしい人権フェスティバルを主催し、細部にわたる運営に尽力してくださった公民館をはじめ、婦人会、そして地域の皆様方、保護者皆様の情熱と献身に、校長として心からの敬意と感謝を申し上げます。

今後とも、子どもたちの豊かな成長のため、熱いご支援をよろしくお願ひいたします。



各学年の代表者による人権標語を発表



人権作文発表



1年生の発表



2年生の発表



3年生の発表



4・5年生



6年生の発表



模擬店



スタンプラリー（婦人会長と）



スタンplaリー（公民館長と）



○×クイズ



スタンplaリー景品交換